

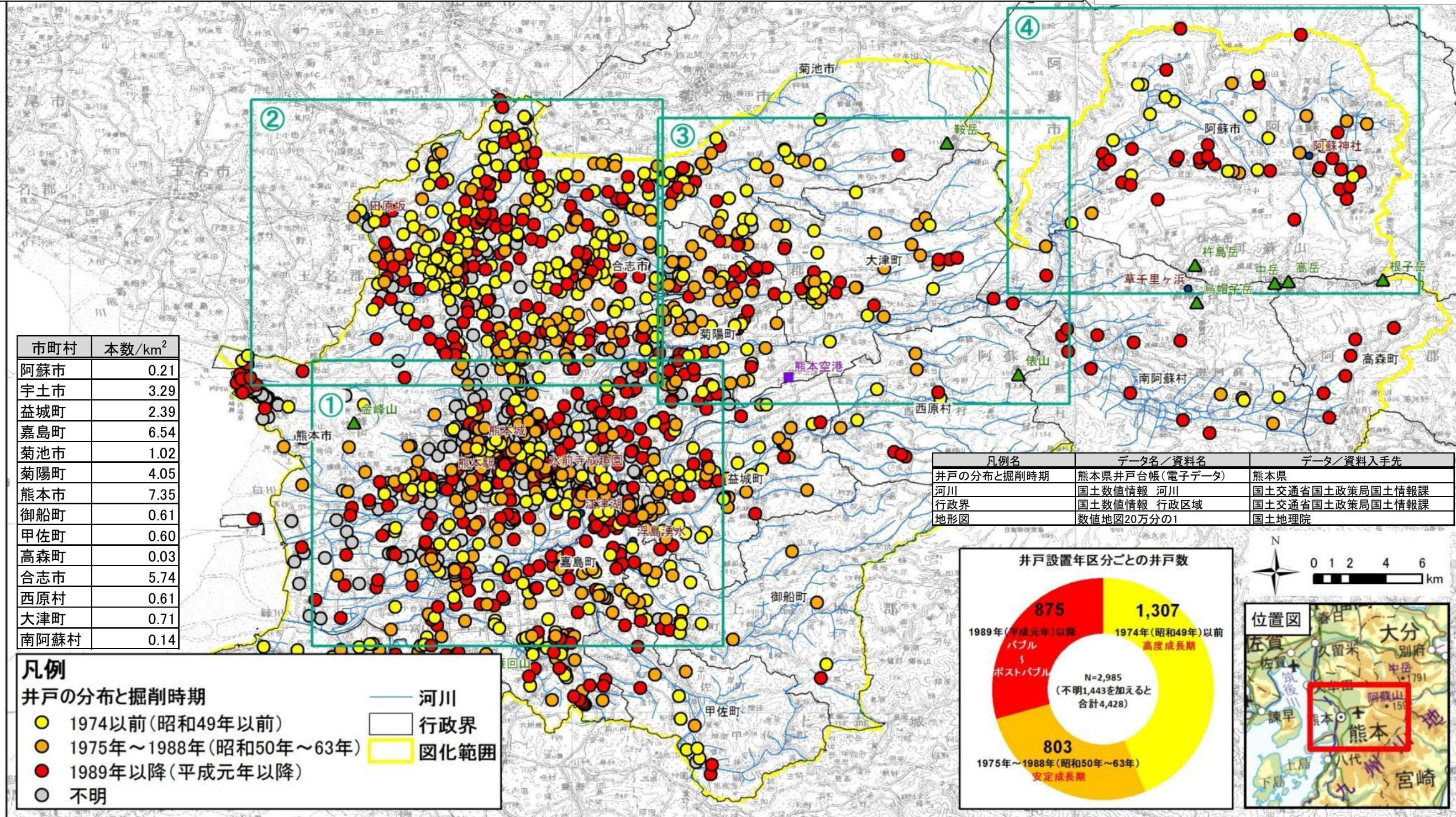
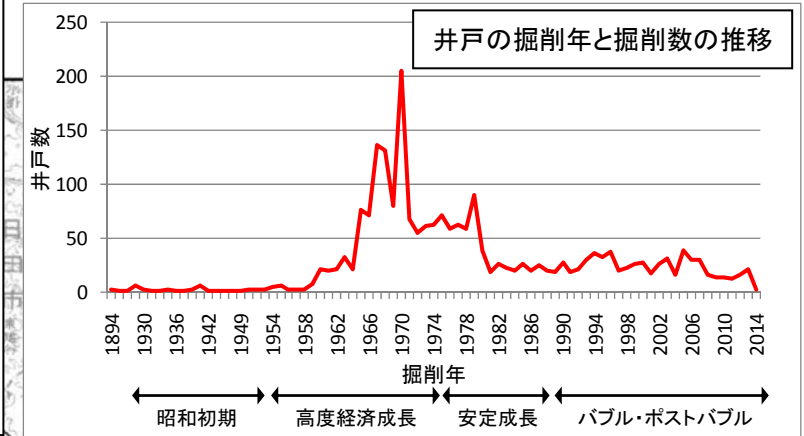
図3 暮らしの中の井戸（地下水）

市街地における井戸の分布を掘削年区分ごとに示す。電子データとして井戸台帳にまとめられている井戸だけで4,428本存在する。熊本県が所有する電子データ版井戸台帳には明治期に掘られた井戸が掲載されている。掘削年が明記されている最古のものは明治27年の井戸である。

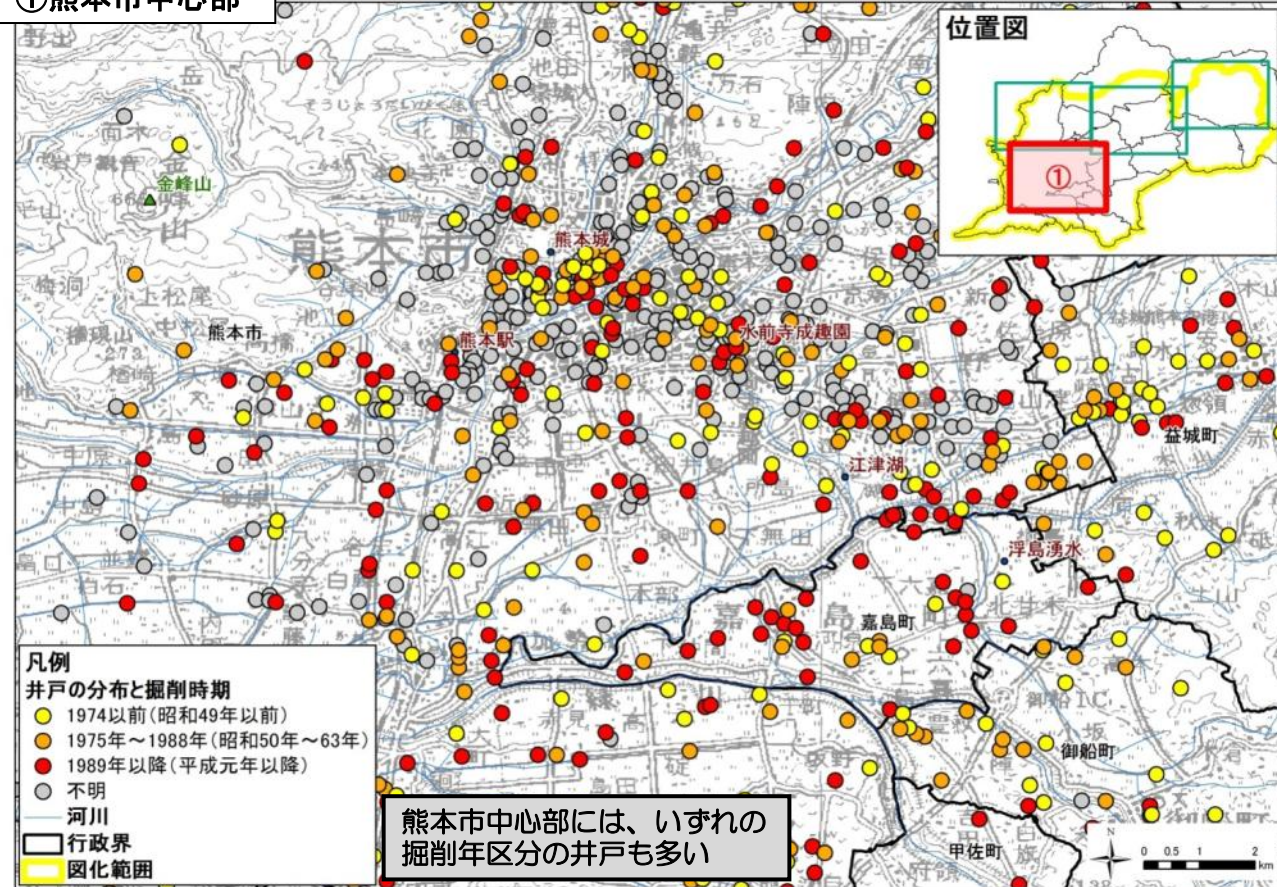
高度経済成長期（1974年以前）に掘削された井戸は1,307井（掘削年代不明の井戸を除いたうちの44%）であった。1975年以降の昭和期（14年間）にも803の井戸（同27%）が、平成元年（1989年）以降の26年間でも875の井戸（同29%）が掘削されているが、井戸の掘削数は高度経済成長期に比べ減少傾向にあると考えられる（右下円グラフ参照）。

市町村ごとの面積と井戸本数の関係を見ると、熊本市では7.35個/km²、宇土市では3.29個/km²の密度で井戸が存在していた（左表参照）。地域別にみると、熊本市中心部（次頁①）ではどの掘削年区分の井戸もみられるが、やや平成期に掘削された井戸が多い。一方、植木町周辺では1974年以前に掘られた井戸が多くみられる（同②）。地下水の涵養域にあたる大津町周辺に井戸は少ない（次頁③）。井戸の掘削数が他の市町村に比べ少ない阿蘇市は、平成期に掘削された井戸が多くを占める（同④）。

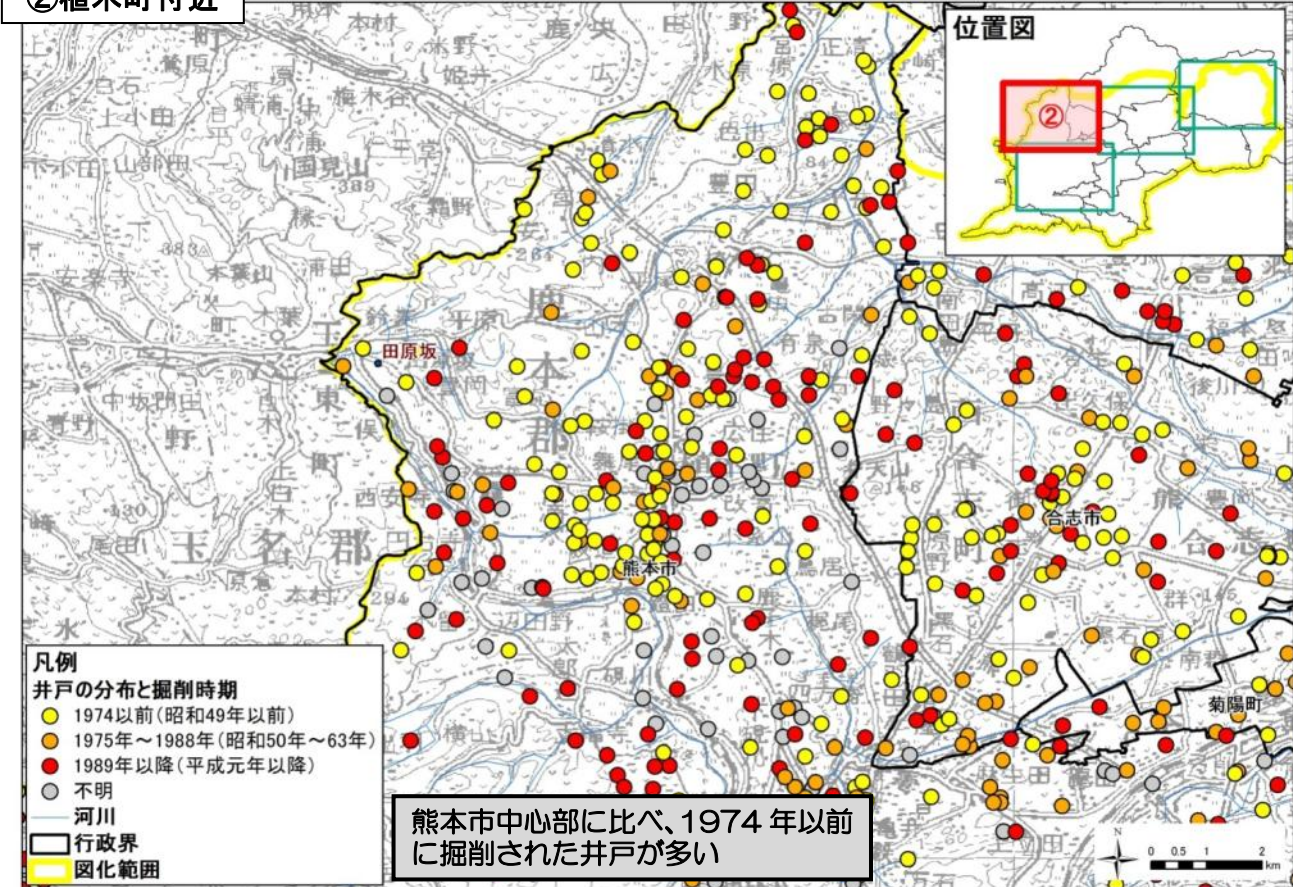
全体的な井戸の分布は江津湖～熊本市中心部に多いほか、熊本市北部～合志市の菊池川流域にも多くみられる。



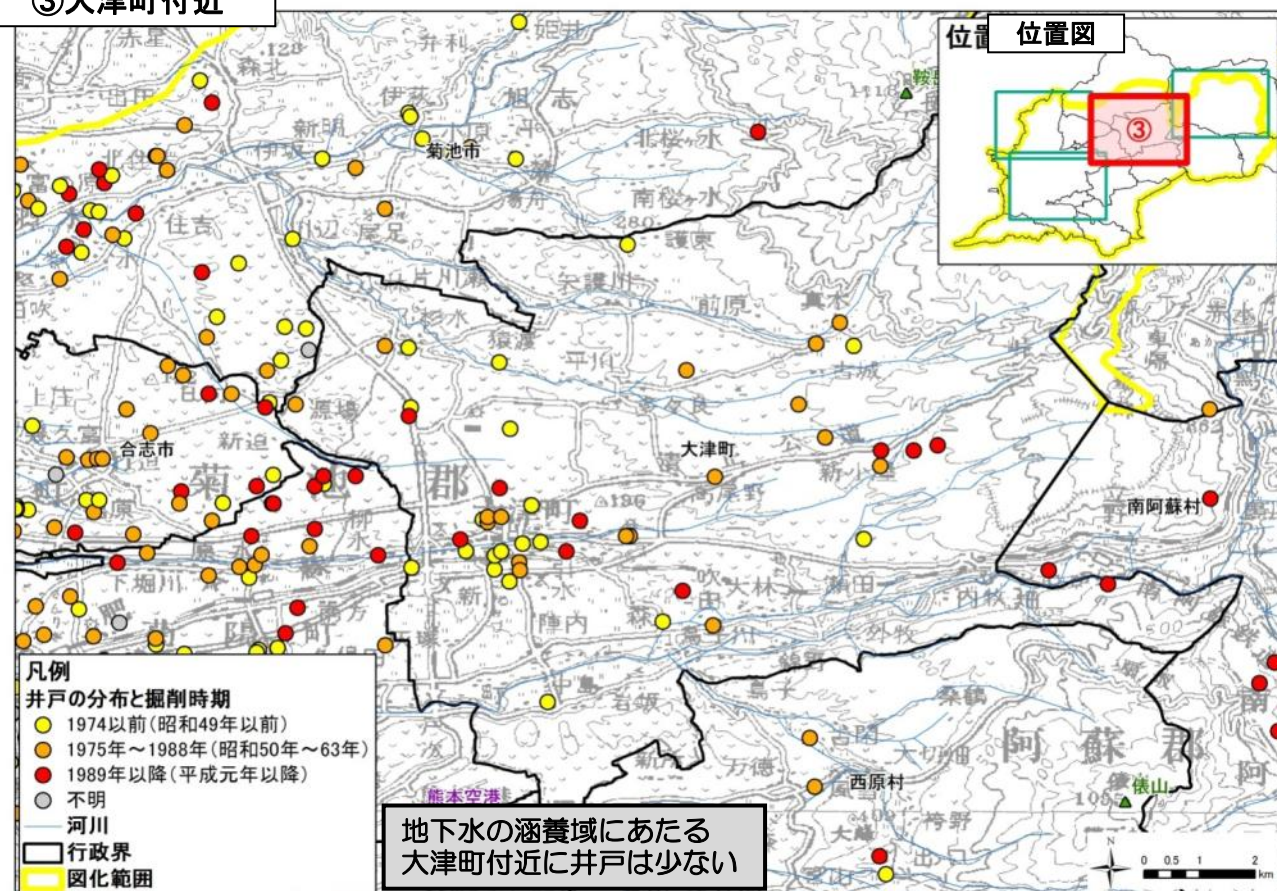
①熊本市中心部



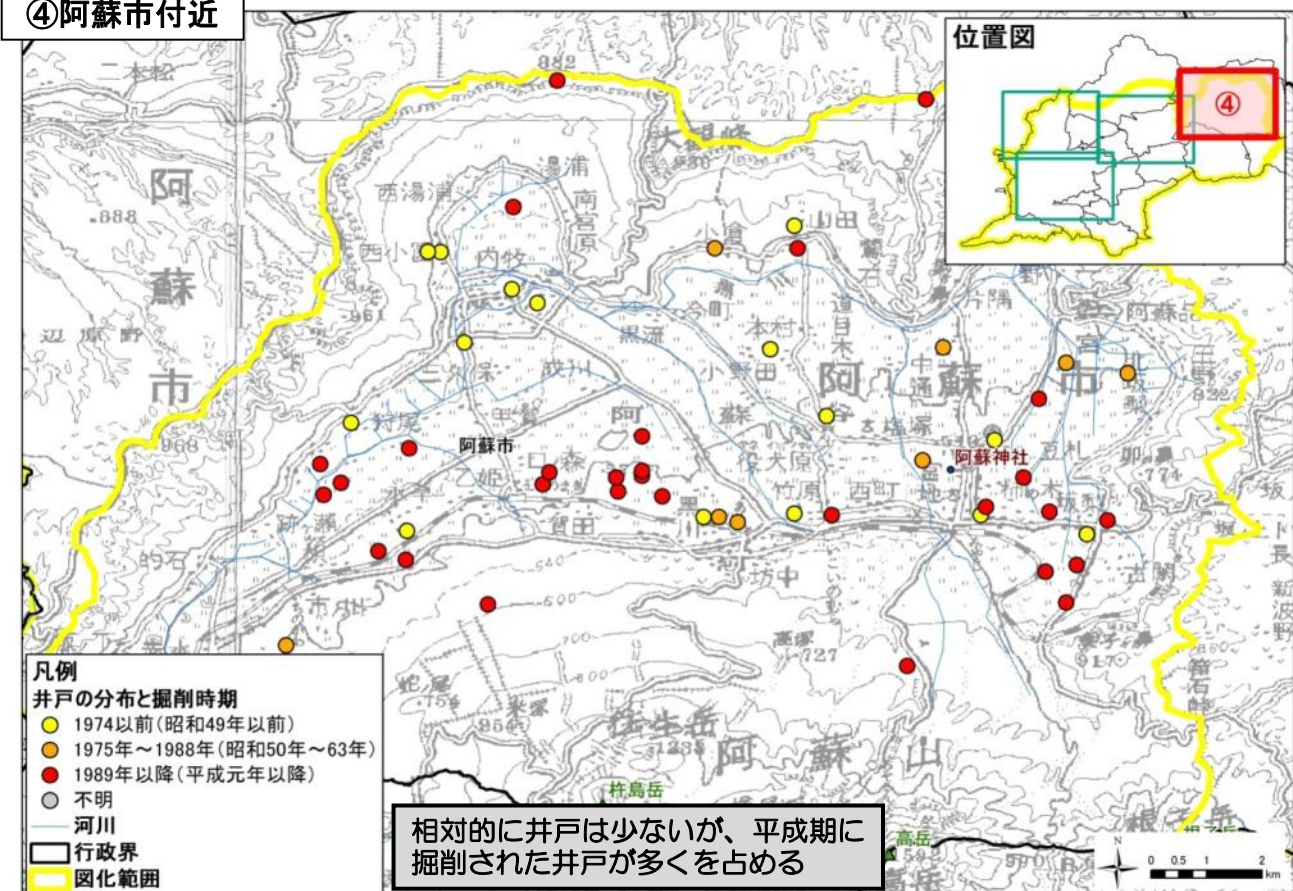
②植木町付近



③大津町付近



④阿蘇市付近



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）、数値地図50000（地図画像）、数値地図25000（地図画像）及び電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 平27情複、第758号）」